

アル・アクサ洪水第746日目：イスラエルによるジェノサイドが続き、ガザで多数のパレスチナ人を殺害・負傷させている

Palestine Chronicle、2025年10月19日、協浜義明訳



135体の遺体がガザに到着し、明らかな拷問の痕跡と、胸部および頭部への銃創が確認された。(写真提供：QNN)

主要事項

- * ネタニヤフ首相は、戦争が終わるのはハマスの武装解除を含む停戦合意第二段階が完了してからだと言った。
- * アル・カッサム旅団は、土曜日早朝に発掘したイスラエル人人質の遺体2体を引き渡すと発表した。
- * ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降の犠牲者は、死者68,159人、負傷者170,203人となり、その多く女性と子どもである。

最新情報

10月19日 11:59 pm

* フォックス・ニュース：今日、トランプ大統領はフォックス・ニュースに対して、ガザ停戦合意に基づくハマスの武装解除には「期限はなく、強硬姿勢で圧迫もしていない」と述べたが、必要になれば米国あるいは「代理国、例えば米国を支援するイスラエル」が行動を起こすかもしれないと示唆した。

10月19日 11:25 pm

* パレスチナ・クロニクル：ネタニヤフ首相が米国の圧力とガザの民間人死傷者の増加を受け、空爆の停止を命じたと同時に、ハシル・アル・ハヤ率いるハマス代表団が停戦履行を協議するためにカイロに到着した。

10月19日 11:06 pm

*イスラエル・ハヨム紙：イスラエル治安筋は、米政府の要請でガザへの支援物資輸送の再開を決定したことに不満を表明した。治安当局は、「米国の介入は疑いない。イスラエルは米国の承認がなければガザで動くことができない」と言った。治安関係の高官は、米政府の意向に反する決定をすれば、「即刻取り消されることとなる。イスラエルはガザに関して独自の決定をすることも、レバノン・モデルを適用することもできない。これは憂慮すべきことである」と述べた。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ筋がアル・ジャジーラに語ったところによると、仲介者の調停で、ガザの停戦が復活した。今後の停戦違反に対処する拘束力があるメカニズムの構築が協議されているという報告がある。

*ABCニュース：イスラエル高官はABCニュースに対して、当初イスラエルはガザへのクロッシングを全部閉鎖しガザ援助を停止する決定をしていたが、後にそれを取り消したと語った。高官は、現在空爆しているので援助物資輸送は一時停止されており、ラファ・クロッシングの閉鎖は、ハマスが「適切なペース」で人質遺体の引き渡しを続けるようになるまで、続けると述べた。

*ワシントンポスト：救援担当高官の発言では、ガザへの人道支援物資輸送は明日月曜日に再開される。

*パレスチナ・メディア：医療筋の報告によると、今朝からのイスラエル軍のガザ回廊各地への空爆で、パレスチナ人42人が死亡した。

*イスラエル軍：ハマスが停戦違反をしたとして攻撃を開始したが、「政治部の指示に従って」停戦合意の再適用を開始した。軍は停戦合意の履行を続け、違反があったら断固処置する。

*イスラエル・メディア：イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障大臣は、ガザ支援停止決定をネタニヤフ首相が撤回したことを「恥ずべきこと」と非難し、イスラエルは「後退をやめ、軍事行動、占領、入植活動の奨励など、全面戦争に戻るべきだ」と言った。

*パレスチナ・メディア：医療筋によれば、今朝からのイスラエルによるガザ回廊各地への攻撃で、パレスチナ人35人が死亡した。

*イスラエル・メディア：ベザレル・スモトリッチ財務大臣は、「ハマスを壊滅することは道徳的義務であり、戦争の主要目的である」と述べ、「任務を達成するまで我々は休まない」と付言した。

10月19日 9:06pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルは停戦違反を続け、学校、住宅、難民キャンプへ空爆と砲撃を行い、子ども8人とジャーナリスト1人を含む、少なくとも32人が死亡した。

10月19日 8:52pm

*パレスチナ・メディア：医療筋によると、今朝からのイスラエル軍のガザ回廊各地への空爆でパレスチナ人32人が死亡した。

*チャンネル12：イスラエル治安筋は、停戦について心配する必要はない、イスラエルは停戦の崩壊を望んでいないと語った。停戦違反が発生したので、対応しただけだと説明し、今後もハマスが停戦違反したら厳しく対応すると言った。

*アクシオス：米高官の話では、イスラエルは明日朝にガザへの主要クロッシングを開ける計画だと米政府に連絡した。

*チャンネル12：政治筋によれば、イスラエルはガザ回廊への広範な空爆のため救援物資トラックの運行を止めているが、空爆が終わり次第、運行できるようにする。ラファ・クロッシングについては、ハマスが「適切なペースで」人質遺体を返還するようになるまで閉鎖を続ける。しかし、米国筋によれば、イスラエルはガザへのすべてのクロッシングを明朝開くと米政府に約束した。

*CBSニュース：ジャレッド・クシュナー大統領顧問はCBSニュースに対して、ガザ和平計画の成否はイスラエルとその国際的パートナーたちがハマスに代わる実行力ある選択肢を見つけることができるかどうかにかかっていると言った。「イスラエルとパートナーたちが安定した持続可能な代替えを確立できれば、ハマスは崩壊し、ガザはイスラエルにとって脅威でなくなるだろう」と言った。

*パレスチナ・メディア：アル・アウダ病院の報告によれば、ヌセイラト難民キャンプの西のアブ・スレイム地区の避難民テントをイスラエル軍が爆撃し、パレスチナ人6人が死亡した。

*イスラエル軍：ガザ回廊南部のラファで戦闘があり、ナハル旅団第932大隊の将校と兵士1人が死亡した。

*パレスチナ・メディア：救急隊の報告によると、イスラエル機がガザ回廊中部のヌセイラト難民キャンプの南にある避難民テントを爆撃し、死傷者が出た。

*イスラエル・ハヨム紙：ガザで事態の緊張化を受け、ネタニヤフ首相は、イスラエル・カツ国防相、ロン・デルメル戦略問題担当相、安全保障当局幹部らと会談している。

10月19日 7:37 pm

*イスラエル軍ラジオ放送：明日と明後日に予定されているネタニヤフ首相の裁判が、政治的会合のスケジュールと裁判官1人が欠席するために、中止された。

*イスラエル・メディア：イタマール・ベン・グヴィル国家安全保障相は、ネタニヤフ首相のガザへの支援物資搬入の停止決定を歓迎し、「援助再開の必要はない。必要なのは戦争再開だ」と言った。

*チャンネル12：政治指導部は当面ガザへの支援物資搬入を停止するという軍の勧告を受け入れ、ガザへのクロッシングすべてを閉鎖した。

*CNN：イスラエル支配地域とパレスチナ人が行き来できる地域とを隔てた緩衝地帯である「イエローライン」の背後で事件が発生し、イスラエル軍に死傷者が出たと、関係筋が語った。

*ハマス声明：我々は停戦合意を厳格に遵守しており、仲介者も我々が停戦違反した証拠はないと言っている。むしろ、イスラエルが停戦発効初日から、「イエローライン」を超えて活動し、民間人を殺傷している。イスラエルは人道的プロトコルを守らないで、食料や復興に必要な物資の搬入を妨害し、女性や子どもの被拘禁者の釈放を意図的に遅らせている。さらに、イスラエル軍がパレスチナ人囚人の遺体を切断したのは戦争犯罪であり、人道に対する罪である。停戦合意の崩壊は全面的にイスラエルの責任である。我々は仲介者にイスラエルのガザ攻撃をとめる行動をとるように求めた。

*チャンネル12：米政府は停戦合意の崩壊につながるガザの情勢悪化を治めようとしている。イスラエルはガザの軍事行動を事前に米国に通知したが、実行の承認を求めなかった。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル機がヌセイラト難民キャンプの中の避難民が避難している学校を爆撃したと報じた。

10月19日 6:20 pm

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、またもやイスラエル軍はハーン・ユーニス東部を空爆し、これで同市東部への空爆は20回を超えたと報じた。

*アクシオス：米高官の話では、米政府はイスラエルに自制的で相応の対応をするように促した。また、スティーヴン・ウィトコフ特使とジャレッド・クシュナー大統領顧問は、イスラエルのロン・デルメル大臣を含む高官と意見を調整し、今後の対応を協議したと報じられている。米高官はさらに、誰も戦争再開を望んでおらず、イスラエルは合意を損なわずにハマスに協定違反した場合の結果を思い知らせようとしただけだと述べた。高官は、トランプ政権がガザ和平合意の履行で大きな役割を担っており、「我々は合意履行に責任を持ち、決定権を持つのは我々だ」と言った。

*ネタニヤフ首相府：首相府は、ハマスは依然として「イスラエルとパレスチナの両方の人々にとって最大の脅威」であるとして、強力な対応をすると宣言した。「ガザにおけるハマスの支配力は崩壊しつつあり、我々はそれを弱める」と言った。

*アクシオス：イスラエルは、ガザ空爆を、停戦を監視する米軍司令部を通じて、事前にトランプ政府に通知したが、許可を求めなかった。

10月19日 5:47 pm

*パレスチナ・クロニクル：アル・カッサム旅団はイスラエル人囚人の遺体を発見したと発表し、イスラエルの空爆再開が、合意に基づく遺体回収・返還の作業を妨げていると警告した。

*パレスチナ・メディア：医療筋の報告では、今朝からのイスラエル軍の空爆でパレスチナ人15人が死亡した。

*トランプ：トランプ大統領は、ハマスは武装解除を約束したが、今はギャングと戦っていると主張している。ガザ合意はすべての当事者によって尊重されており、アラブ諸国、イスラム諸国、及びイスラエルからも承認された。また、湾岸諸国が大きな支援を提供し、イランに距離的に近いカタールは大きなリスクを背負っていると言った。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告によると、イスラエル軍のハーン・ユーニス西のアル・マワシ地区の避難民テントへの空爆で、子ども2人を含む3人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：米高官はアル・ジャジーラに対し、米政府はガザの現状を緩和するために仲介者と協力しており、和平実現にはトランプ政府の20項目計画の実施が不可欠だと強調した。高官は、米国はカタール、エジプト、トルコと調整を続けており、金曜日からガザ民軍調整センターがイスラエルで立ち上がり、数週間のうちに国際代表が参加するだろうと述べた。

*イスラエル・メディア：イスラエル・ベイテヌ党のアヴィグドール・リーベルマン党首は、ガザの完全占領とハマス打倒を訴え、「ためらう余地はない」と言った。

*パレスチナ・メディア：アル・アクサ殉教者病院の報告では、ガザ回廊中部のアッザワイダにあるジャーナリスト用宿舎をイスラエル軍が空爆し、ジャーナリスト1人を含む2人が死亡した。

*パレスチナ・メディア：救急隊の報告によると、ハーン・ユーニス西のアル・マワシ地区の避難民テントへの空爆で、数人が負傷した。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、ガザ回廊中部のブレイジ難民キャンプへのイスラエルの空爆で、住宅が破壊されたと報じた。ハーン・ユーニス北西のアスダ地区の貧民テントも攻撃され、数人が負傷した。

*パレスチナ・クロニクル：今日イスラエルは、ハマスが停戦違反をしたとして、ラファ、ハーン・ユーニス、ガザ回廊中部を攻撃し、パレスチナ数人を殺害した。ハマスは違反行為を否定し、違反しているのはイスラエルだと非難した。

10月19日 4:41pm

*アル・カッサム旅団：旅団は人質の遺体を発見し、現場の状況が許せば遺体を引き渡したいと言った。旅団は、イスラエルの戦争行為エスカレートが遺体発掘・回収作業を妨げ、遺体返還も遅れると警告した。

*パレスチナ・メディア：アル・アウダ病院の報告では、ヌセイラト難民キャンプへの空爆で、パレスチナ人3人が死亡し、数人が負傷した。

*パレスチナ保健省：病院筋の報告によると、戦争終結発表以降、イスラエル軍の攻撃で51人が死亡し、150人以上が負傷した。

*イスラエル・メディア：ラファ事件¹を受け、イスラエルはガザ回廊を20回空爆した。

*イスラエル首相府：ネタニヤフ首相は、彼がハマスの停戦違反と呼ぶ事件を受け、ガザ回廊の「テロリスト標的」への空爆を軍に指示した。

*アル・カッサム旅団：旅団はラファ事件との関与を否定し、停戦合意遵守を改めて表明した。現在イスラエル支配下にあるラファ地域のカッサム旅団の部隊とは連絡を取ってないと言った。

*イスラエル軍報道官：ラファ事件は停戦合意の「明白な違反」であり、イスラエルは武力で対応する。

*ガザ保健省：この24時間でパレスチナ人18人が死亡、3人が負傷した。これで2023年10月7日以降の犠牲者は、死者68、159人、負傷者170、203人となった。

*Wafa：パレスチナ通信社 Wafa によると、イスラエルのジャバリヤ東部への空爆で、パレスチナ人2人が死亡、その他数人が負傷した。現場は危険な状態が続いているため救急車が近づけられない。

10月19日 2:16pm

*ガザ保健省：今日、イスラエル占領軍から15人のパレスチナ囚人の遺体を受け取った。数人の遺体には殴打や虐待の跡が見られた。

*PFLP:人道支援を政治的脅迫の道具に利用することを非難し、ガザの統一やパレスチナの主権を損なういかなる統治方法も拒否する。

*イスラエル・メディア：ベザレル・スモトリッチ財務相は、イスラエルが停戦違反と呼ぶラファ事件を理由に、軍事攻撃の再開を求めた。これは、先にイタマル・ベン・グヴィル国家安全保障相の同様な要求の直ぐ後に行われた。

訳注1：今日ラファでイスラエル軍が携帯ロケット砲と狙撃者によって攻撃された事件。ハマスは関与を否定。抵抗勢力戦士が勝手に行ったものと見られる。

*チャンネル12：イスラエル空軍はガザ回廊北部のジャバリヤ地域を空爆した。また、ネタニヤフ首相は閣議を離れて、緊急安全保障協議を行った。

10月19日 12:25 pm

*パレスチナ・クロニクル：ラファで、イスラエル軍への攻撃で兵士2人が死亡、2人が負傷する「停戦違反」を理由に、ラファを空爆した。

10月19日 12:20 pm

*ニュースのまとめ

・チャンネル12はイスラエル空軍がジャバリヤを空爆したこと、ラファで戦闘があったこと、ネタニヤフ首相が閣議を離れて緊急安全法相協議を始めたことを報じた。

・ラファでの激しい戦闘：イスラエル軍ラジオ放送は、軍筋からの情報として、ガザ回廊南部のラファで今も激しい戦闘が続いていると報じた。

10月19日 12:12 pm

*イスラエル・メディア：イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障相は、ラファでの停戦違反と見做される事件を受け、ネタニヤフ首相に全面的戦争再開を命じるように求めた。

10月19日 12:03 pm

*パレスチナ・クロニクル：脆弱なガザ停戦は2つの脅威に直面している。1つは、ハマスの攻撃が差し迫っているという米国の主張によって引き起こされる外交危機、もう1つはイスラエルが重要なラファ・クロッシングの再開を拒否していること。

10月19日 12:00 pm

*ニュースのまとめ

・脆弱な停戦の爆発：イスラエルは停戦違反を理由に戦争再開。ネタニヤフ首相が緊急安全保障協議を開き、イスラエル軍は合意違反を理由にラファへの空爆再開し、停戦合意は即時崩壊の危機に瀕した。

・ネタニヤフ首相は、ラファでの「停戦違反」と見做される攻撃を受けて、カッツ国防相と他の国防関係高官とガザの治安状況を査定している。

・チャンネル14は、停戦違反と見做される攻撃に対応して、空軍がラファを猛爆撃したと報じた。

・カンは、ラファでイスラエル軍と武装集団の間の戦闘の後、空軍がガザを空爆したと報じた。

・アル・マヤデーーン紙は、イスラエル・メディアを引用して、ラファでイスラエル軍に対し狙撃と爆発装置を使った攻撃があり、イスラエル兵2人が死亡し、2人が負傷したと報じた。 ・チャンネル12は、情報筋の話として、イスラエル空軍のラファ空爆は、イスラエルの協力民兵集団「ヤセル・アブ・シャバブ一派を守るため」だという主張を報じた。つまり、これらパレスチナにとって裏切り者一派を攻撃するパレスチナ人グループを攻撃し、それによって彼らに庇護を提供しているのかもしれないと示唆した。

・これまで分かっていること：ネタニヤフ首相がラファの状況に関して国防相やその他の軍高官と緊急会議をもったこと。その会議はガザ南部で「停戦違反」と見做される事件が起きたためにもたれたこと。イスラエル空軍がラファを猛爆撃し、イスラエル・メディアがそれを停戦違反攻撃への報復と報じたこと。イスラエル情報筋は、緊張激化の直接的原因は、イスラエル兵に対する狙撃と爆発装置の投げつけで、兵が2人死亡、2人負傷と言ったこと。あるイスラエル・メディアは、空爆は「ヤセル・アブ・シャバブ民兵団を守る」ことも目的とし、現地の治安情勢が複雑の絡み合っていることを示唆したこと。

10月19日 11:54 am

*パレスチナ・クロニクル：ネタニヤフ首相は、レバノンのポケベル爆破による暗殺を画策し、ヒズボラ指導者ナスララ暗殺を承認したことを認めた。さらに彼は、今後対イラン緊張激化を示唆した。

10月19日 11:30 am

*チャンネル14：イスラエル空軍戦闘機は停戦違反への対応としてラファを空爆した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍は、西岸地区ラマッラーの北の町トゥルムス・アヤから報道陣を追い出した。トゥルムス・アヤでは入植者によるパレスチナ人オリーブ収穫者に対する襲撃が続いている。

*チャンネル14：ラファ地区でイスラエル軍の工兵車両が爆発したが、原因は明らかにされていない。

*ガザ市民防衛団：市民防衛団の広報担当者のマハヌード・バサルはアル・ジャジーラに対して、ガザでは生活必需品が不足しており、不発弾が7万トンも放置されて住民の脅威になっていると述べた。また、瓦礫に埋もれている遺体の搜索と発掘にはかなりの時間と重機が必要だが、市民防衛団にはそれがないと言った。

*パレスチナ赤三日月社：ラマッラーの北のトゥルムス・アヤで入植者がオリーブ畑の農民を襲撃し、パレスチナ人女性と外国人活動家が負傷した。また、ナブルスのアル・アイン難民キャンプの負傷者を救助する救急車の到着をイスラエル軍が妨害した。

*チャンネル12：昨夜返還された2人目の遺体がイスラエル人人質のものであることが確認された。イスラエル政府は、アル・カッサム旅団から引き渡された2人の遺体の身元も確認した。まだ16人の遺体がガザの瓦礫の中に残っている。

*ハマス声明：ハマスは、ハマスの停戦違反が差し迫っているという米 국무省の主張を無根拠だと否定した。ハマスは、イスラエルがガザで「犯罪集団を組織し、武装させ、資金提供している」と述べ、ガザ警察が地域社会の支援を得て、法に従って追求しているのであって、これは停戦違反ではないと言った。ハマスは米国に対し、「イスラエルのプロパガンダの繰り返しをやめ、イスラエルの停戦違反継続をとめる」ことを求めた。「米 국무省の主張はイスラエルの虚偽の主張と一致し、イスラエルの犯罪を隠蔽することになる」と言った。

*イスラエル・メディア：国民統一党のベニー・ガantz党首は、この戦争はイスラエルの準備不足を証明したと述べ、「公共サービスと政府省庁の崩壊」を指摘した。

*Wafa：国連地雷対策機関のルーク・アービン、避難民が帰還し始めているが、不発弾が散在しているので危険だと警告した。彼は、除去作業には時間がかかると述べ、パレスチナ市民社会団体が不発弾危機に対する意識向上を図る活動を称賛した。

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍は西岸地区トゥバで軍事行動をし、アパートを爆破した。

*首相府：ネタニヤフ首相府は、引き渡されたイスラエル人人質のロネン・エンゲルの遺体が本人のものであることを確認した。2人目の遺体の身元確認は現在進行中。

*ユーロ地中海人権モニター：ユーロ地中海人権モニターは、欧州委員会とEU加盟国が資金提供したガザのインフラや住宅に対するイスラエルの組織的破壊に抗議した。病院、学校、海水淡水化プラントなど、EU資金で建設した施設への攻撃と破壊は、国際法に基づく占領国としての義務への重大な違反であると指摘した。

*パレスチナ・メディア：地元からの報告によると、イスラエル占領軍はガザ市東を砲撃した。

*パレスチナ・メディア：情報筋によると、イスラエル海軍の艦艇がハーン・ユーニス海岸地帯に砲撃した。

10月19日 1:24am

*米 국무省：米 국무省は、ハマスがガザの民間人を攻撃して停戦合意に違反する体制を整えているという「信頼できる報告」があると、仲介国に伝えたと発表した。この発表は、報告されている攻撃は停戦の「直接的かつ重大な違反」であり、仲介者の調停努力で達成された進展を損なうものだと述べている。

*チャンネル12：ヴァンスJ.D米副大統領のイスラエル訪問は火曜日まで延期された。

*ハマスの声明：ネタニヤフ首相のラファ・クロッシング閉鎖決定は停戦合意違反である。

10月18日 11:01pm

*パレスチナ・クロニクル：2年間にわたってガザを無慈悲に爆撃した後で、イスラエルが自分たちの爆撃で死亡したイスラエル人人質の遺体返還に関してずい難癖をつけて、戦争再開の恫喝をかけている。

10月18日 10:50pm

*チャンネル12：米政府筋の発言によると、米国は今後のガザ状況の展開に「深く関与」する。スティーヴン・ウィトコフ特使とジャレッド・クシュナー顧問は、今回の中東訪問で、イスラエル兵捕虜や人質の遺体搜索作業と、ガザへの国際安定化部隊の設置準備に重点的に取り組む予定。両氏は、遺体搜索活動に、イスラエルが拒否したトルコチームの協力

を許可するようにイスラエルへ要請し、また米政府は「イスラエルがガザへの人道支援を妨害したり制限することを許さない」ことを強調した。さらに、両氏はハマスとガザの抵抗勢力グループの武装解除計画の策定にも取り組む予定である。

*ハアレツ：イスラエルは、西岸地区のブリン村でオリーブ収穫に協力しているときに身柄拘束した外国人活動家32人を、明日、国外追放する。

*ネタニヤフ首相：戦争犯罪でICCから指名手配されているネタニヤフ首相は、ハマスの武装解除を含む停戦合意の第二段階が完了するまで、戦争は終わらないと言った。

10月18日 9:19 pm

*ハマス：ハマスのハゼム・カセム報道官は、ガザ回廊の統治に関するいかなる行政協議にもハマスは参加する意思がないと言った。彼は、ガザ回廊の統治責任を担う地域支援委員会の設置に、ハマスが同意したと述べ、すべてのパレスチナ各派が合意する幅広い行政機関の設立に向けて、地域支援委員会設立を急ぐべきだと言った。カセムはガザの政府機関は職務を遂行し続けており、「空白を開けると危険である」と強調した。彼は、仲介者と停戦合意第二段階に関する協議を行っているが、第二段階は「複雑」だと表現し、重要課題について民族の統一的姿勢を形成するために努力していると述べた。

*アル・カッサム旅団：アル・カッサム旅団は、今日早朝に発掘したイスラエル人捕虜2人の遺体をイスラエルに引き渡すと発表した。

*ハマス：トゥバ作戦は、西岸地区での抵抗が「終わることも弱まることもない」ことを示すものだ。

10月18日 8:18 pm

*パレスチナ・クロニクル：先日釈放されたアル・アウダ病院のアハメド・ムハンナ院長は、約2年間の抑留の悲惨な処遇を語った。彼は、イスラエル占領軍が医療従事者を意図的に標的にし、被拘留者に残酷な虐待をしていると非難した。

10月18日 7:35 pm

*ガザ政府メディア・オフィス：ガザ政府メディア・オフィスは、ネタニヤフ首相が停戦合意の履行を妨害し、国境通路の閉鎖と食糧搬入を阻止し続けていると非難し、仲介者のイスラエルに合意義務を履行するように働きかけることを求めた。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は、追って通知するまでラファ・クロッシングを閉鎖せよと指示した。彼は、ハマスが人質の遺体返還の約束を果たすまで再開しないとやった。

10月18日 7:32 pm

*ガザ保健省：停戦発効以降、イスラエル軍によって殺害されたパレスチナ人は29人となった。このうち23人は瓦礫の下から発掘した遺体で、2人は負傷が悪化して死亡、4人はイスラエル軍の直接攻撃による死亡者。また、この48時間で143人のパレスチナ人が負傷した。これで、2023年10月7日以降の犠牲者は、死者68, 116人、負傷者170, 200人となった。

10月18日 7:29 pm

*パレスチナ・クロニクル：国連人道調整官トム・フレッチャーは、アル・アラビーTVのインタビューで、ガザを「荒地」と表現し、2年間にわたるイスラエルの破壊で、基本的行政サービスの回復は「途方もない仕事」になると言った。

訳注2：今朝西岸地区トゥバでイスラエル軍の爆発物を投げて、2人を負傷させた。